

カブリ財団科学担当副理事長 Miyoung Chun (ミイヨン チュン)氏略歴



チュン博士は、現在の職に先立って、カリフォルニアナノシステム研究所を運営する、カリフォルニア大学サンタバーバラ校の理工学部副学部長でした。さらに、サンタバーバラ校にて国際研究推進部長も務めました。この職務において、世界中の学术界、政府、産業界との間で協力関係を構築するために活躍しました。学術的経歴は、1995年にボストン大学医学部で生化学の助教授およびホイッテッカー心臓血管研究所のメンバーとしてスタートしました。ここでは、細胞生物学と分子医学の分野で教鞭をとり、Gタンパク質共役受容体における信号伝達の研究を行いました。また基金、産業界、政府機関からの研究および教育のための助成を受けました。さらに、科学誌の評価員のほか、NIH（国立保健研究所）や私設財団の科学評議員も歴任しました。

1999年から2005年にかけて、ミレニアムファーマシューティカルズ社において科学者及びプロジェクトリーダーをつとめました。ここでの研究はゲノム科学／機能ゲノム科学、製薬および薬品開発のための分子イメージングに焦点をあてました。彼女は、炎症および心疾患にとって重要な、新しい遺伝子を発見、分析をして米国内外で30を超える権利化／公表された特許を取得しています。

チュン博士は筋肉の構成を研究し、1990年にオハイオ州立大学にて分子遺伝学の博士号を取得しました。また、マサチューセッツ工科大学ホワイトヘッド研究所においてライフサイエンスリサーチ基金博士研究員としてハーベイ・ロディッシュ博士と共に細胞および受容体の分子生物学に焦点をあてた研究を行いました。